

# 水げん通信

サンズ [SONS : Sources of New Streams]

水かおる早良区

“心地よい時間”の流れるまちづくり

第8号 2009年 春号

## 玉井てるひろ

〒814-0171 福岡市早良区野芥 3-26-7

TEL.092-405-3000 FAX.092-405-3001

E-mail: ttamai@ray.ocn.ne.jp

URL: http://www.heartfultime.com

発行者: 福岡市議会議員 玉井輝大

福岡市議会議員 玉井輝大

市議会議員として、1期目の折り返し地点にきました。残りの2年を市政のために全力で取り組んでまいります。



## ●「新しい経済の流れ」

今の悪化した経済は、新たな経済の流れをいち早くつくり出すことを「未来社会が求めている」と思っています。

「これまでの形での公共投資では効果がない。ただ、ものを作るだけの財政支出であれば乗数効果がほとんど効かず、ただ財政赤字が膨らむことになりかねない。他方で、長期金利が上がることで民間需要に緊縮効果をもたらすので、おそらく伝統的なマクロ政策は効かないだろう。(段落) 農業であるとかエネルギーといったこれからの戦略分野の産業に集中的に投資することで効率を上げる必要がある。(中略) 今のような構造変化の大きい時には、ミクロに降りていかなければ政策の効果は上がらない。」(中央公論2月号、「21世紀型恐慌の衝撃と世界の変貌 榊原英資」より)

地域のある経営者の方が、「これからは自給自足に戻らんと。我々は戦争の時、経験している。土地に何かを植えて、庭に鶏を飼って、それを食べて生き抜いてきた。そ

れを当然のこととしてやっていた。そのことを考えれば、自給自足で何も問題はない。今まだ我々が生きとうけん、それが出来る。」とおっしゃられました。どんなマクロ経済の理想を言っても、ひとり一人の人間が生きていけない限り、それは、うたい文句だけで終わる。ひとり一人が安心して食べていけるようになるための政策は何か？安易な結論は出せないが、いまとにかく、方向性だけは出さねば。

1月27日の西日本新聞、経済面の記事タイトルを羅列してみると、「香川、徳島銀が来春統合」、「5信組資本支援 全新祖連が検討」、「岐阜銀支援に十六銀50億」、「米ファイザー、ワイズ買収」、「経営論理優先の果て 雇用依存の地域に痛手」、「地場企業の魅力発信 中小への転職促進サイト リクルート開設」、「福岡ファイナンシャルグループ来月機構改革」、「マンション開発 福岡のシックス破産を申し立て」などでした。どの業種も、どの規模の企業も動き

出していますね。雇用市場も。ミクロでの経済の動き、すべて、大きな経済(マクロ)の流をつくり出す動きだと思います。

これらひとつぶ一粒の「水げん」に近い動きから新しい、清らかな大きな流れが形成される。一番重要なのは、新しい流れの方向性をいち早く読みとり、そのための基盤整備を行うこと。よけいな妨害を政治にさせない。今あるよどみを取り除く作業も意識して進めいかねばならない。福岡が先んじてそれを行うことが、福岡経済圏が自立経済へ向かえるとっかかりであり、唯一の方策だと考えます。

「貧しい人とともに働き、豊かな人々の無関心を行動に変える。」(オバマ演説より) みんなで新しい社会の流れづくりのために行動しましょう。私たちひとり一人の新たな選択が、未来社会を決める。その選択肢を明確化することを、今やらねばならない。みなさん、一緒に考えさせてください。ご意見をください。

## ● 市政相談タイム

市政のことでお困りなこと、ご意見をお持ちのこと、ありませんか？

次の時間と場所でご相談を承っています。どんなことでも、何人でも玉井と話しにお越しくください。

■時間 16:00 ~ 17:00

【予約なしでも構いません】

■場所 ○月・水・金曜日

民主・市民クラブ議員控室

(福岡市議会会議棟 11階)

TEL.092-711-4736

○火・木曜日

玉井てるひろ事務所(野芥 3-26-7)

TEL.092-405-3000

## ● 玉井プロフィール

1951年 生まれ

1967年 附属福岡中学校 卒業

1970年 福岡県立修猷館高校 卒業

1975年 京都大学工学部建築学科 卒業

1977年 京都大学工学部建築学修士課程 終了

1977年 福岡市役所 勤務 (1989年まで)

1978年 福岡県庁舎の保存再生を進める会 代表 (1981年まで)

1988年 アメリカ、プリンストン大学修士課程 終了

1989年 アメリカ、ニューヨーク米国人 勤務

1992年 ケニア共和国、国立ジョモ・ケニヤッタ農工大学 講師 (1993年まで)

1994年 九州大学 非常勤講師 (1995年3月まで)

1994年 都市計画コンサルタント会社 設立 (現在まで)

1994年 博多まちづくり学校 事務局長 (1996年まで)

2000年 佐賀大学 客員教授 (2001年3月まで)

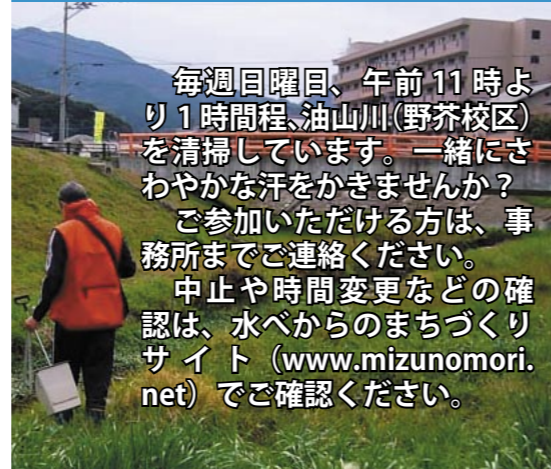
2003年 コンビニエンスストア 経営開始 (現在まで)

2007年 福岡市議会 初当選 (現在まで)

資格: 一級建築士、建築主事資格、福岡県まちづくりアドバイザー



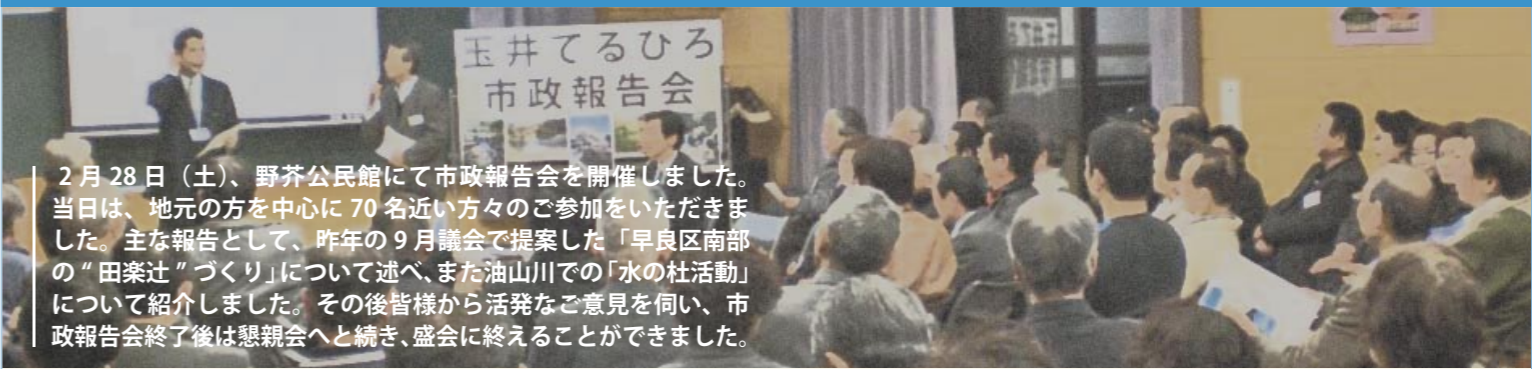
## ● 油山川定期清掃のお知らせ



毎週日曜日、午前11時より1時間程、油山川(野芥校区)を清掃しています。一緒にさわやかな汗をかきませんか？

ご参加いただける方は、事務所までご連絡ください。中止や時間変更などの確認は、水べからのまちづくりサイト(www.mizunomori.net)でご確認ください。

## ● 地域づくりから政治を変えよう



2月28日(土)、野芥公民館にて市政報告会を開催しました。当日は、地元の方を中心に70名近い方々のご参加をいただきました。主な報告として、昨年の9月議会で提案した「早良区南部の“田楽辻”づくり」について述べ、また油山川での「水の杜活動」について紹介しました。その後皆様から活発なご意見を伺い、市政報告会終了後は懇親会へと続き、盛会に終わることができました。

### 「まちのつくりかた」を考える

早良の良さを活かす、まちのつくりかたを考えないといけない。野芥には西油山、油山川、金屑川などの自然が間近にあり、この良さに向かっていく政策が必要だと思います。

一つの活動として、「水の杜(もり)活動」(水べの観察と清掃)で、行政と市民が一緒になって水べ環境をつくることを進めています。



ひとり一人の生活が良くなるためには地域で何をなすべきなのでしょう？ 自然を守るために、どうまちのつくりかたを変えるのでしょうか？

まず、これからは車との闘い。川を道路のために埋めて来ていますが、水べとして再び地上に戻してほしい。車

で移動ができることで豊かになりましたが、Co2排出問題や人口が減っていくことを考えると、車には乗らず、無駄なエネルギーを使わず、都市生活がおこなえること。車に依存するより高い利便性を実現し、水べをいのちの環境として整備し、空いている土地があれば緑で覆い、都市部でも自然が増えるようにすることが大切です。

### 早良南部の可能性

これからは地域の中で、仕事も心配も喜びも分かち合う時代だと思います。まず家族であり、次は地域だと思います。その地域でのつながりをどうつくっていくのか？ また、逆に今の世の中をどこから変えていくかという地域だと思っています。



早良区の南部にはこれからの産業、農業林業があります。なぜ、これからの産業であるかと言うと、自然とともに生業を営むことができるからです。「土地があったら耕せば食べていける。」とある方が言われました。そう考えると安心できます。川で魚が獲れたら、田畑で食物が採れたら安心します。そんな地域をつくり出したい。



### みんなで早良から

政治においても中央集権から地方分権へ変えていかねばなりません。江戸の動きに頼らず「自分たちで自分たちのことを決める」そんな時代をつくり出さなければなりません。

そのために、今から地域の良さ見直し、活かしながら、野芥、田隈から、さらに早良から未来社会をつくり出していきたい。

## ● 九州哲学・政治塾 (カッパ塾) 4月始動!

日本の知力と早良の語り部による、九州哲学・政治塾、KAPPA (Kyushu Academy for Philosophical and Political Affairs) 塾を始めます。塾名に水の精、河童の名前を借り、いのちの源、水に代表される、循環する自然とともに人がいかに生きていくべきかを考えます。

維新が始まる19世紀半ばにも似た、膠着した社会状況。以前より総合的に複雑な事柄を分析、研究、そして、対策を打ち出せるようなホロニックなアプローチを可能にする技術の進化。国家を超えた視座の中

から浮かび上がる安定した社会像。そして、いまま変わらず私たちが受け継いできているもの。

日本の近代化から始まり続いてきた私たちの生活哲学、それをいま洗い直し、私たちの生活の中に「心地よい時間」が流れる社会づくりのための哲学をあぶりだしたいと思っています。そして、この活動の継続が「持続循環革命」と呼べるような新たな時代の創出をリードする政治哲学につながることを目指します。



### 参加者からのご意見 (一部)

- 地域交流センターを早くつくってほしい。
- 野芥校区で使える付加価値がある地図をつくってほしい。
- 地下鉄野芥駅通路に野芥周辺の写真を展示してはどうか？
- 50年前の野芥は田んぼが多くて、きれいな水が流れていて長生きできると思った。このきれいな水を守ってほしい。
- 旧早良のもつ自然、歴史、文化を区で分けずに一緒に活かしてほしい。